

2026 年 8 月 27 日

Green Earth Institute 株式会社

Morimatsu グループとの戦略的業務提携について

- GEI の独自バイオプロセス技術と Morimatsu グループのグローバル・エンジニアリング体制を融合し、東南アジアをはじめとする世界市場でのバイオエタノール事業展開を加速 -

Green Earth Institute 株式会社（証券コード：9212、以下「GEI」）は、Morimatsu グループ^{※1}の代表企業である Morimatsu International Holdings Company Limited^{※1}（香港証券取引所メインボード上場、銘柄コード：2155、以下「Morimatsu」）との間で業務提携契約を締結し、国内外におけるバイオものづくりの社会実装を戦略的に加速する体制を構築いたしました。

本業務提携により、両社は、日本国内のバイオものづくり案件において当社技術の市場への実装を共同で推進することに加え、東南アジアをはじめとする世界市場に向けて、GEI が開発した非可食バイオマス由来のバイオエタノール生産プロセス（GWE プロセス^{※2}および GOE プロセス^{※3}）のテクノロジーパッケージ拡販を強力に推進し、世界規模での新たなバイオものづくり事業の共同創出を本格化させてまいります。

1. 業務提携の背景と目的

GEI は、2026 年 7 月 15 日に公表した[中長期ビジョン](#)において、バイオ製品事業及び国内バイオ燃料事業による確実な早期収益化（1 階部分：稼ぐエンジン）を進めるとともに、東南アジアをはじめとする世界市場に向けたバイオエネルギー革命（2 階部分：夢のエンジン/テクノロジーパッケージの展開）^{※4}を加速させ、バイオものづくりにおける統合型産業プラットフォームへの進化を目指す方針を示しました。

この「2 階部分（夢のエンジン）」の展開をスピード感をもって実現するためには、GEI が保有する独自のバイオプロセス技術を商業規模の生産設備として確実に立ち上げるエンジニアリング力、高品質な設備製造能力、そしてグローバルなサプライチェーン基盤が不可欠です。

Morimatsu は、30 年以上にわたる高度な製造技術を基盤に、世界 10 か国以上で最先端のモジュラープラントやワンストップ EPC（設計・調達・建設）を展開するグローバルエンジニアリング企業です。

両社が強固なパートナーシップを結ぶことで、GEI の技術開発力と Morimatsu の卓越したプラント実装力が一体となり、国内外でのバイオ燃料・化成品プラントの早期商業化および世界展開を実現できると判断し、本提携に至りました。

2. 業務提携の概要

今後両社は、以下の 4 領域において共同で事業を展開・推進いたします。

① 国内バイオものづくりエンジニアリング事業の共同推進

日本国内で実施されるバイオものづくり関連プロジェクトにおいて、プラント建設およびモジュール設備に関するエンジニアリング業務を共同で受託・実施してまいります。

② 「GWE プロセス」テクノロジーパッケージのグローバル拡販

Morimatsu グループが世界中で展開するグローバルネットワークを活用し、GEI が開発した木質由来バイオエタノール生産プロセス (GWE プロセス) のテクノロジーパッケージ (設備一式を含む) の拡販を、両社協力のもとで推進します。

③ GOE プロセスを用いたテクノロジーパッケージのグローバル拡販

GEI が開発したオイルパーム廃木 (OPT) からバイオエタノールおよび発電用ペレットを併産する GOE プロセスに関するテクノロジーパッケージの拡販を推進します。原料資源 (OPT) が豊富なインドネシア、マレーシア等の東南アジア地域を主要ターゲットといたします。

④ バイオものづくり分野における新規事業機会の共同発掘

両社の技術・エンジニアリング・事業基盤を組み合わせ、世界各地における新たなバイオものづくり事業機会を継続的に発掘・模索してまいります。

3. 業務提携の意義

本提携は、個別プロジェクトや特定技術に留まらず、GEI が保有するバイオものづくり技術を継続的に商業プラントとして社会実装していくための強固な事業基盤を両社共同で構築するものです。

GEI はこれまで、GWE プロセスやGOE プロセスをはじめ、独自のバイオプロセス技術の研究開発を推進してまいりました。これらの技術が社会に価値を生み出すためには、要素技術の確立に加え、①プラント設計・エンジニアリング、②設備製作および建設、③現地での試運転および立上げ、④商業運転の継続支援、⑤各地域の規制・調達環境に即したグローバル展開という、一連の実装機能を備えることが不可欠です。Morimatsu グループは、GWE プロセスのプラント建設を推進する過程で、設備設計・建設・高精度モジュール製作・グローバル調達力」を担うパートナーとしての実績を有しており、両社はこれまでの協業を通じて、技術仕様の相互理解、設計・製作品質の水準、および事業スピードにおける高い親和性を確認してまいりました。今回の業務提携により、GEI のバイオプロセス技術と、Morimatsu グループのグローバル・エンジニアリング体制および事業ネットワークを有機的に組み合わせることで、日本国内はもとより、東南アジアをはじめとする世界市場でのバイオものづくり事業展開を加速させることができます。

これにより GEI は、中長期ビジョンで掲げた、既存事業を着実に成長させる「1 階部分 (稼ぐエンジン)」の上に、新たな成長機会として構築する「2 階部分 (夢のエンジン)」の実現に向けた戦略的な布石^{※5}でもあります。GEI は、優れた技術を生み出す研究開発企業にとどまることなく、その技術を実際の商業生産設備として社会に実装し、新たなバイオものづくり産業そのものを創出することを目指しており、Morimatsu グループとの提携はその実装力を飛躍的に高めるものです。本業務提携を起点として、GEI は「研究の GEI」から「稼ぐ GEI」への進化を加速し、バイオものづくりにおける統合型産業プラットフォームとしての企業価値の最大化を強力に推進してまいります。

4. 両社代表コメント

Morimatsu International Holdings Company Limited

代表取締役 CEO 西松 江英 氏

GEI は、GWE プロセスおよびGOE プロセスをはじめとする極めて独自性の高いバイオプロセス技術を有しており、バイオものづくりという次世代産業分野において、世界的な競争力を持ち得る数少ない技術基盤を築いてきた企業であると認識しております。

私ども Morimatsu グループは、これまで GWE プロセスの社会実装に向けた協業を通じて、GEI の技術力の高さ、開発チームの誠実さ、そしてバイオものづくりを産業として確立するという事業ビジョンの明確さを、高く評価してまいりました。

今回の業務提携を通じて、GEI が有する世界最先端のバイオプロセス技術と、Morimatsu グループが 30 年以上にわたり培ってきたエンジニアリング能力および世界 10 か国以上に展開するグローバルネットワークを融合させることにより、日本国内のみならず、東南アジアをはじめとする世界各地におけるバイオものづくりの社会実装を、力強く推進してまいります。両社の連携が、持続可能な社会の実現に向けた具体的な貢献につながることを、確信しております。

Green Earth Institute 株式会社

代表取締役 CEO

伊原智人

GEI はこれまで、GWE プロセスおよびGOE プロセスをはじめとする独自のバイオプロセス技術の研究開発に、長年にわたり真摯に取り組んでまいりました。しかしながら、優れた技術は、それ自体では価値を生みません。商業生産設備として社会に実装され、実際に稼働し、日々のオペレーションの中で製品を生み出して初めて、技術は社会的な価値へと転換されるものと考えております。

Morimatsu グループとは、これまで、複数のプロジェクトで GWE プロセスの設備開発を通じて協業を進めてまいりました。その過程で、同グループの卓越したエンジニアリング能力、大規模プラント建設における確かなプロジェクト遂行能力、そして何よりバイオものづくりを次世代の基幹産業として確立するという長期的なビジョンを、私どもと共有できるパートナーであると確信するに至りました。

GEI は、中長期ビジョンにおいて、「2 階部分（夢のエンジン）」として世界市場に展開するバイオものづくり事業の創出を掲げております。今回の業務提携は、その実現に向けた極めて重要な戦略的布石であり、GEI の技術力と、Morimatsu グループがグローバルに展開するエンジニアリング体制および事業ネットワークを組み合わせることにより、日本国内のみならず、東南アジアを中核とする世界市場での事業展開を、これまでにないスピードで加速してまいります。

GEI は、本業務提携を起点として、技術を生み出す会社から技術を世界で実装する会社へと進化を遂げてまいります。

※1 Morimatsu グループについて

Morimatsu グループは、日本の森松ホールディングス株式会社を親会社とするグローバル・エンジニアリング企業グループです。その代表企業である Morimatsu International Holdings Company Limited は香港証券取引所メインボードに上場しています。（銘柄コード：2155、2026 年 8 月時点の時価総額 約 87 億香港ドル（約 1,770 億円））。30 年以上にわたり圧力容器の設計・製造で培った溶接・冷間加工・防食技術をコア技術とし、バイオ医薬品、化学・ファインケミカル、電子化学、リチウムイオン電池材料、エネルギー、半導体等の幅広い分野に、コア設備・プロセスシステム・モジュラー工場を含むワンストップ・エンジニアリング・

ソリューション（設計・調達・建設（EPC）および高度なモジュール製造）を提供しています。

2025 年 12 月期の連結売上高は約 69.5 億人民元（約 1,640 億円）、グループ従業員数は約 5,000 名を擁し、日本（横浜／藤沢／岐阜）・中国（上海／南通／武漢／常熟／濰坊）・スウェーデン（ストックホルム）・スイス（ヴァルト）・イタリア（ミラノ）・インド（ムンバイ）・マレーシア（クアラルンプール／ペンゲラン）・シンガポール・韓国（ソウル）・米国（ヒューストン／ニュージャージー）の世界 10 か国以上に製造拠点・研究開発／技術センター・事業開発拠点を展開しており、バイオ医薬品領域ではスウェーデンの Pharmadule Morimatsu AB、スイスの Bioengineering AG を子会社として傘下に持ち、これまでに 40 を超える国・地域への納入実績を有しています。

近年は脱炭素分野への取り組みを一層強化しており、持続可能な航空燃料（SAF : Sustainable Aviation Fuel）関連プラントの建設実績を有するほか、SAF の普及拡大を目指す官民連携組織「ACT FOR SKY」のメンバーとして、次世代燃料の社会実装にも積極的に参画しています。

※2 GWE（GEI Wood to Ethanol）プロセス

GEI が独自に開発した、木質バイオマス由来パルプを原料とするバイオエタノール生産プロセス。

製紙会社で生産される木質パルプ等を原料とし、パルプを糖化する酵素と、糖からエタノールを生成する酵母を循環利用する「連続同時糖化発酵プロセス（Continuous Simultaneous Saccharification and Fermentation）」により、を中核技術としています。

本プロセスの特長は、連続運転期間の長期化にあります。従来型のバッチ方式と比較して、設備の稼働と休止の間に必要となる洗浄・準備工程の頻度を大幅に低減大幅な連続運転とすることが可能となり、年間操業日数の最大化を実現します。その結果、①バイオエタノールの年間生産量の増加、②酵素の使用量削減、③ユーティリティ（電力・蒸気・水等）消費量の削減によるトータルの生産コスト低減を実現します。

※3 GOE（GEI OPT to Ethanol）プロセス

GEI が電源開発株式会社（J-POWER）との協業のもとで開発を推進している、オイルパーム廃木（Oil Palm Trunk、以下「OPT」）を原料とした、バイオエタノールおよび再生可能エネルギーの併産プロセス。

OPT を搾汁して得られる糖液をバイオエタノールの原料として利用するとともに、搾汁後の固形分を発電用ペレット等のバイオマス燃料として活用します。これにより、これまで廃棄物として大量に発生していた OPT を、資源として最大限に活用するとともに、バイオエタノールと再生可能エネルギーの同時創出を実現します。

インドネシア・マレーシアをはじめとする東南アジア地域において、廃棄物処理と新規産業創出を同時に実現する、社会的意義の高いプロセスとして位置付けられます。

※4 バイオ製品事業及び国内バイオ燃料事業による確実な早期収益化（1 階部分：稼ぐエンジン）を進めるとともに、東南アジアをはじめとする世界市場に向けたバイオエネルギー革命（2 階部分：夢のエンジン/テクノロジーパッケージの展開）

ビジネスモデル | 2 階建ての成長エンジン（中長期ビジョン P.6 参照） [140120260715593711.pdf](https://www.gei.co.jp/140120260715593711.pdf)



※5 既存事業を着実に成長させる「1 階部分（稼ぐエンジン）」の上に、新たな成長機会として構築する「2 階部分（夢のエンジン）」の実現に向けた戦略的な布石
本業務提携の4 項目と、中長期ビジョン2 階建て構造の対応関係



以上